

## 東京の学童疎開

東京大空襲・戦災資料センターでは、戦争や空襲に関する資料や遺品などのご寄贈、またはそのご相談を受け付けております。今回は、近年新しくご寄贈いただいた収蔵品から、学童集団疎開に関する資料を展示します。

展示資料は、「疎開児童が使っていた道具箱」(淀橋区落合第四国民学校)、「学寮日誌」(京橋区築地文海国民学校)、「疎開児童の日記」(世田谷区代沢国民学校)、画文集「思ひ出」(足立区千寿第二国民学校)の4点です。当時の子どもたち、また親や教員にとって、学童疎開とは、そして戦争とはどのようなものだったのか、伝えてくれる資料です。企画展に連動してイベントも開催します。ぜひご来館ください。



開催期間：1月16日(火)～3月31日(日)

会場：東京大空襲・戦災資料センター1F映像講話室

入場料：通常の入館料のみでご覧いただけます

99歳が語る！

疎開児童の寮母となって ～柏木文代さんの戦争体験～

画文集「思ひ出」の寄贈者である柏木文代さん(1924年生まれ)から、戦争体験を聞かせていただくイベントを開催します。御年99歳！戦争の時代を生きただけから直接、お話を聞くことができるとても貴重な機会です。

城東区(現・江東区)大島で生まれ育った柏木(旧姓・齋藤)文代さんは、学童疎開する千寿第二国民学校(足立区)6年生男子たちの世話をする寮母として、長野県野沢温泉へ行きました。スキーを楽しんだ思い出もありますが、子どもたちの世話をするなかで様々な矛盾を感じたといいます。

1945年3月、子どもたちとともに疎開先から東京に戻るときに、子どもたちから柏木さんへ贈られたのが、画文集「思ひ出」です。42人の男子が描いたものから、そして、柏木文代さんのお話から、戦争の時代とはどのようなものだったのか、知る機会にしたいと考えています。ぜひご参加ください。



日時 2024年2月18日(日)午後2時～午後4時

場所 東京大空襲・戦災資料センター1F映像講話室

定員 30席(予約制)

ネット配信：録画を後日配信(配信期間：2月21日13時～3月10日)

☆参加費と申し込み方法は、裏面をご覧ください。

東京大空襲・戦災資料センター